

西尾市一色干潟の標識キアシシギについて

2017年8月21日  
西三河野鳥の会

海部会では前回2014年9月5日に西尾市の一色干潟で探鳥会を実施しましたが、この時に観察された標識付きのキアシシギについて、この個体がその後も継続して観察されておりますので報告します。この記録で特筆されるのは、このキアシシギの一色干潟で生活している範囲が春の渡り秋の渡り共に広大な一色干潟の中でも僅か50m×150m程度の狭い範囲の中に限られていることです。

このキアシシギについて調べたところ、2012年6月24日にオーストラリア西オーストラリア州のBeaches, Crab Ck Rd, Roebuck Bay, Broome (18° 00' S, 12° 22' E)で標識・放鳥されたもので、放鳥時は1歳の未成鳥であることが分かりました。

この時に右脚跗蹠に金属リング、左脚腿に黄色のフラッグ(黒色で「CCH」の記号付き)を装着されています。

上記よりこのキアシシギは2011年の6～8月頃にシベリアで生まれ育ち、その年の秋にオーストラリア西部まで渡って越冬したものと推測されます。

翌年、春の渡りの季節が過ぎた2012年6月24日に西オーストラリア州で捕獲され標識されていますので、この年は繁殖地方向へ移動することなく越冬地の西オーストラリア州で繁殖期を過ごしたことが分かります(オーストラリアで越冬するシギの多くが産まれた翌年は渡りをせず、繁殖期を越冬地であるオーストラリアで過ごすことが分かっています)。

一色干潟で、初めてこの個体が観察されたのは2013年7月14日です。この年は8月15日まで滞在していますが7月14日はキアシシギの繁殖期ですので、この年は春の渡りで一色干潟の周辺まで来たものの繁殖地であるシベリアまでは行かず、そのまま一色干潟で繁殖期を過ごしたらしいということが分かりました。

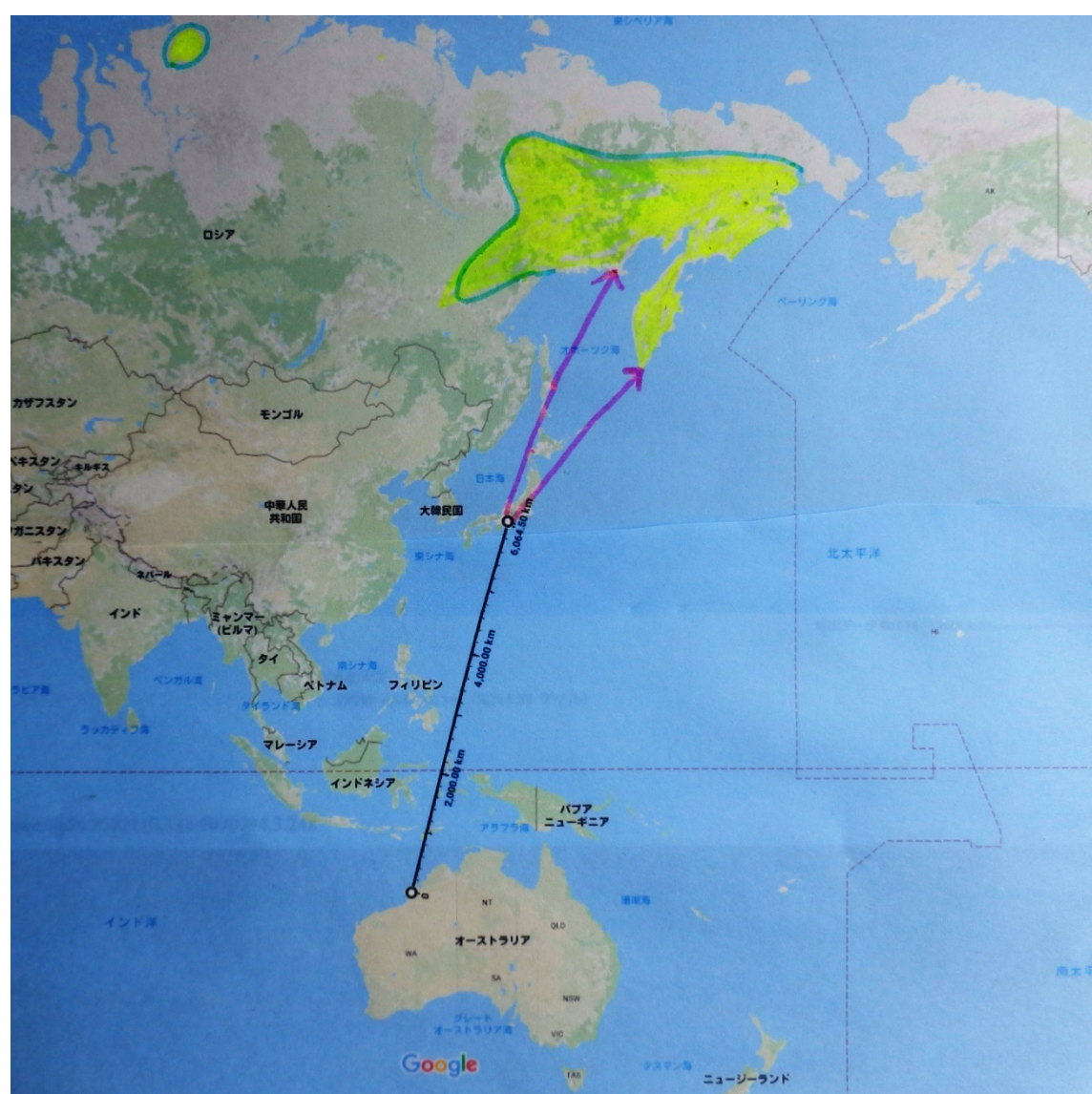
2014年の春の渡りでは5月28日に1日だけ確認されており、秋の渡りでは8月6日に飛来して、9月5日の海部会探鳥会で観察された後に9月13日まで滞在して南へ渡去しました。

2015年の春の渡りでは5月22日の1日だけ、秋の渡りでは8月17日から9月18日まで滞在しています。

2016年の春の渡りでは5月12日から5月14日の3日間確認、秋の渡りでは8月9日から9月5日まで滞在しています。

秋の渡りではそれまで装着されていたフラッグが脱落していたために右脚の金属リングの番号を読み取って確認しました。またこの年は早期の9月5日に飛去していますが、2016年は台風が2回も北海道を直撃するなど過去に例の無い異常気象が影響したのかも知れません。

2017年の春の渡りでは5月11日の1日のみ確認されており、秋の渡りでは8月16日現在確認されていません。飛来の季節になってから渡りのコース上で雨が続けていることが原因と思われるかもしれませんが、生きていれば必ず飛来するものと思いますので待っているところです。



キアシシギの繁殖地と渡り経路 (一色～ロシアは推定)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	越冬期			繁殖期						越冬期		
2011年												
2012年						★						
						6/24						
2013年												
							7/14					
2014年						★						
						5/28						
2015年						★						
						5/22						
2016年												
						5/12	5/14					
2017年						★						
						5/11						

★ 東シベリア(卵～若鳥)推定      ■ 西オーストラリア州ブルーム      ■ 西尾市一色町真野(衣崎)海岸

キアシシギ「CCH」の確認日





矢作古川河口西部（衣崎）海岸



2013年7月14日鈴木恒則撮影



2014年5月28日今勝憲撮影



2014年9月13日高橋伸夫撮影



2015年5月22日浅井光撮影



2015年8月18日高橋伸夫撮影